平成２８年度　京都外国語大学校友会和歌山支部事業の報告



去る６月２６日に、京都外国語大学校友会和歌山支部の平成２８年度総会・文化事業・懇親会が、京都外国語大学１号館地下１階「コンパーニョ」で開催されました。



今年度は、念願であった母校で開催しましたところ、総勢５１名の参加を得て大変盛り上がることができました。文化事業としましては、昨年度たいへん好評でありました二胡の演奏者（スペイン語学科卒業　Ｈ８Ｅ）の瓦野早紀子さんに、素敵な演奏を披露して頂きました。「蘇州夜曲」や「川の流れのように」の演奏は、まるで二胡が歌っているかのように心に響いてきました。懇親会の最後には、皆さんで二胡の演奏に合わせて「花」と外大校歌を合唱し、懐かしさで全員の心が温かくなりました。

今回初めての試みとして、懇親会に大学生を招待したところ、TOEICの試験や模擬国連などの諸行事があるにも拘らず、３名の女子大学生が参加してくれました。彼女たちからは、「和歌山支部会員の方々と交流ができ、たいへん良い経験になった」との感想を頂きました。私たちも、現役外大生から現在の大学の様子を知ることができ、また和歌山支部の活動を理解してもらう良い機会となりました。



懇親会終了後には、大学の１号館７階から校舎全体の様子、新しい講堂、大学院や校友会本部、広いグラウンド、新設の体育館と武道館を見学させていただきました。中でも、懐かしの４号館は取り壊されていましたが、春には新しい校舎が建設予定とのことでした。見学途中で、学生達の模擬国連の様子を拝見させてもらえたのは良い経験となりました。

今回の支部事業では、島谷校友会会長及び本部役員の皆さん、校友会中村事務局長とスタッフの皆さん、大学から下村副学長・久保教授・岡本入試センター長・長者大学事務局長、そして各支部長・教志会長を始め各支部代表の皆様方には、多大なるご協力とご支援をいただきましたことに、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

校友会和歌山支部長　佐武正章（Ｓ５６Ａ）